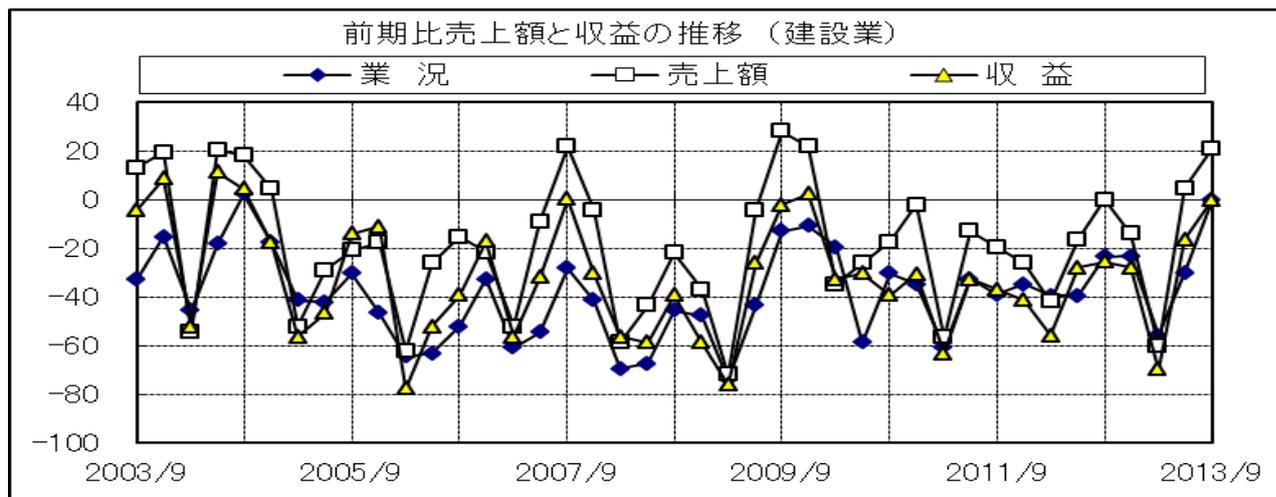


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
業 況	-55.8	-30.2	-0.1	2.2
売上額	-60.4	4.7	21.0	4.6
収 益	-69.8	-16.3	-0.1	0.1

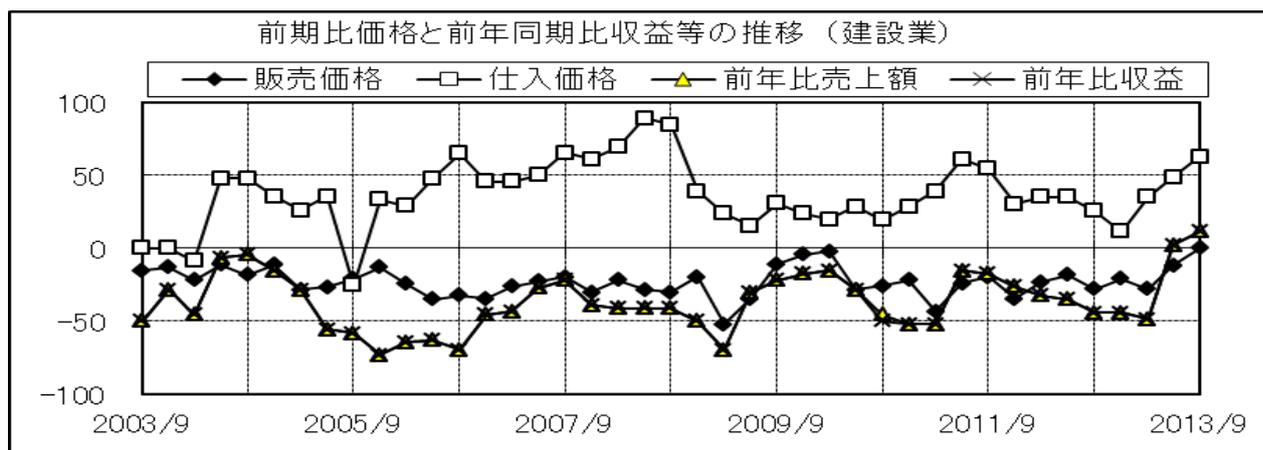
今期の業況判断DIは $\Delta 0.1$ と、前期比 30.1 ポイント上昇した。地区別のDIの水準は類似、広尾が同率でトップ、続いて三石、静内、浦河、えりもの順となった。業況判断DIは、前年($\Delta 23.4$)比でも 23.3 ポイント上昇した。売上額判断DIは 21.0 と、前期比 16.3 ポイント上昇した。収益判断DIは $\Delta 0.1$ と、前期比 16.2 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
請負価格	-27.9	-11.7	0.0	2.4
仕入価格	34.9	48.9	62.8	51.2

請負価格判断DIは 0.0 と、前期比 11.7 ポイント上昇した。仕入価格判断DIは 62.8 と、前期比 13.9 ポイントの上昇で価格上昇基調を強めた。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
残業時間	-18.6	-11.6	14.0	9.3
人手状況	-4.7	-11.6	-23.3	-30.3

残業時間判断DIは 14.0 とプラス値に転換し、残業時間が増加したとする割合が増えた。人手過不足判断DIは $\Delta 23.3$ と、前期比 11.7 ポイント下降し、人手不足感をさらに強めた。

□ 設備投資の動き

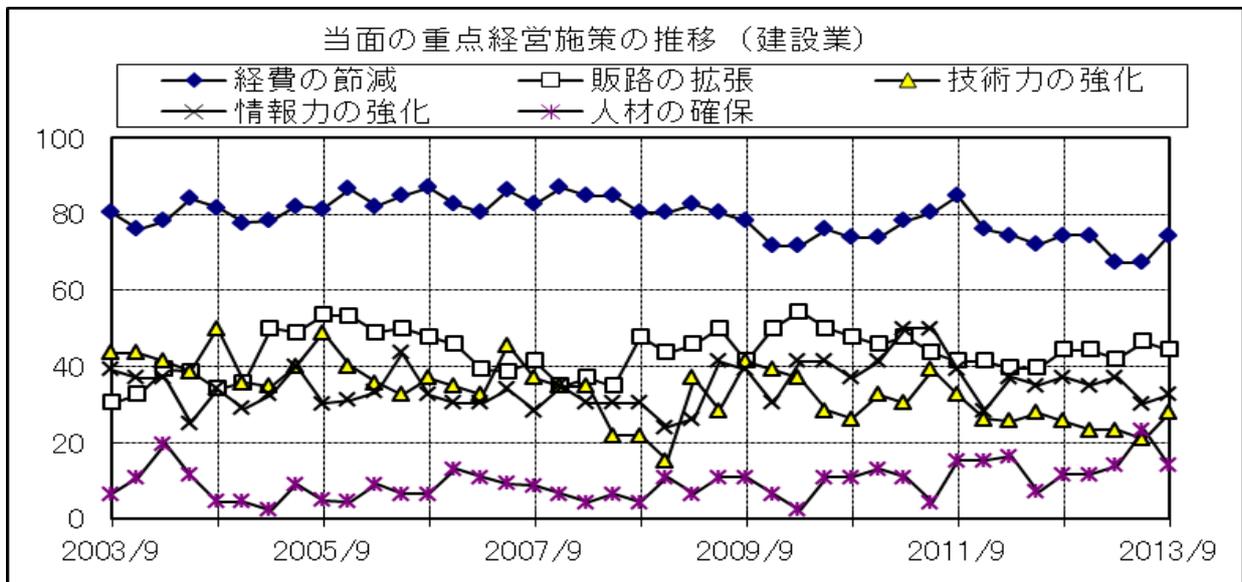
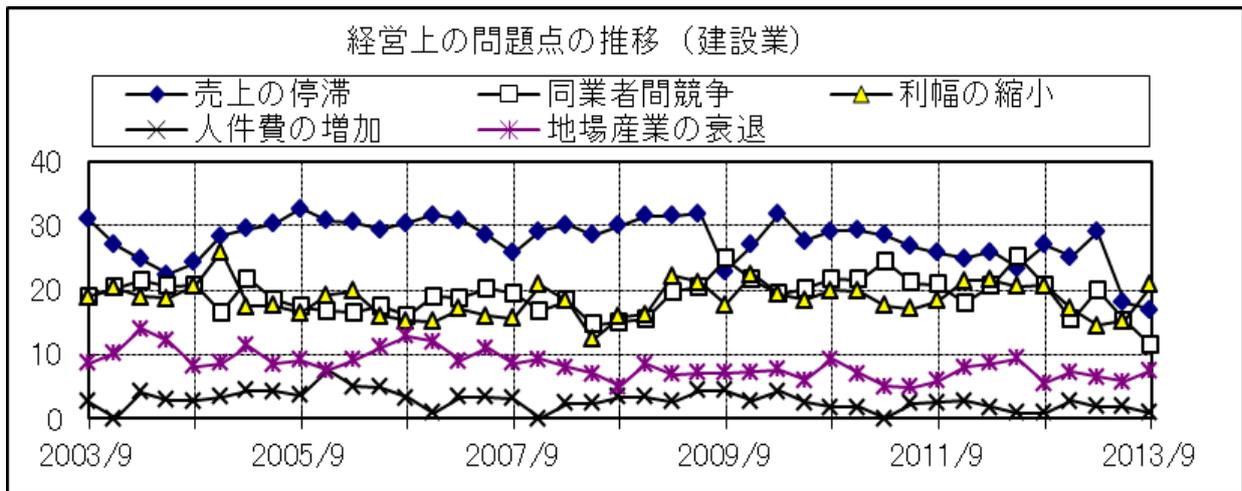
設備投資の充足感を示すD Iは、前期△7.2から△20.9ポイントへと前期比13.7ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は20.9%と、前期比7.0ポイント下降、前期の12社に対し9社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「利幅の縮小」をトップに挙げ20.8%、「売上停滞減少」17.0%、次に「材料価格の上昇」16.0%、「同業者との競合」11.3%が続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ74.4%、次いで「販路の拡張」44.2%、「情報力の強化」32.6%、「技術力の上昇」27.9%の順となっている。



来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは2.2と、今期比2.3ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D Iは4.6と、今期比16.4ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D Iは0.1と、今期比0.2ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D Iは2.4と、今期比2.4ポイントの上昇を見通している。

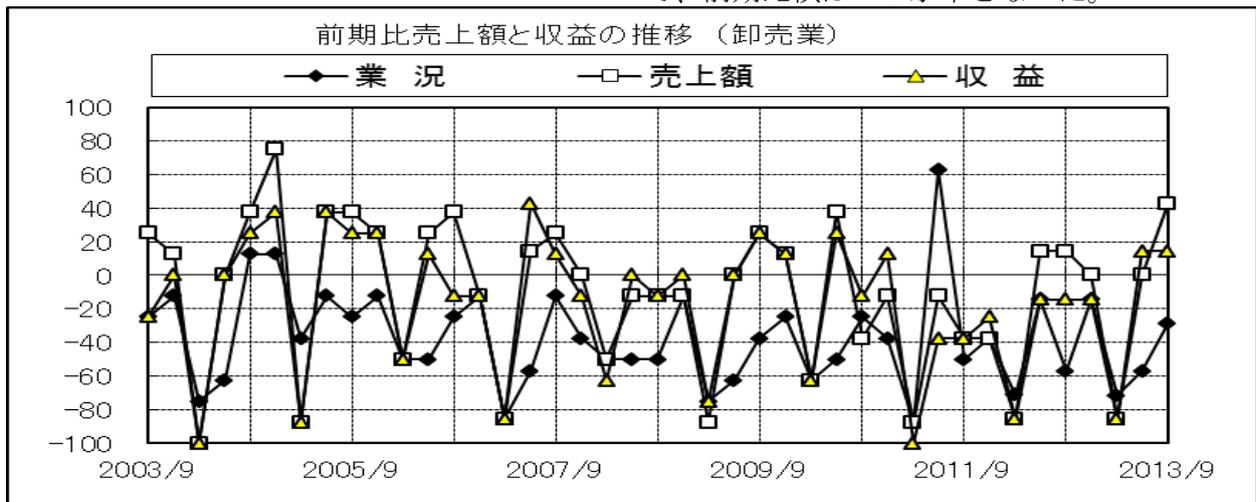
予想仕入価格判断D Iは51.2と、今期比11.6ポイントの下降を見通している。

卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業況	-71.5	-57.2	-28.6	0.0
売上額	-85.7	0.0	42.9	14.3
収益	-85.7	14.3	14.3	14.3

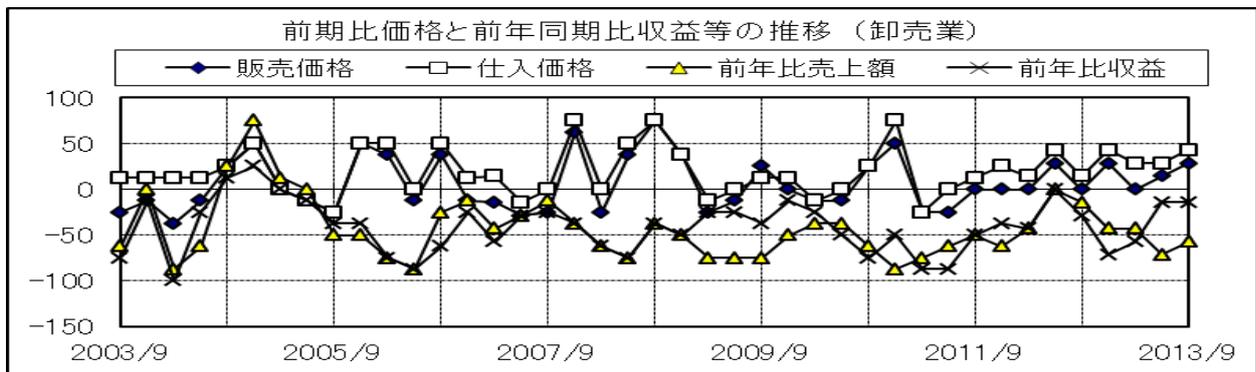
今期の業況判断DIは△28.6と、前期比28.6ポイントの上昇となった。地区別の水準は、様子をトップに、静内、三石が同率で続き、浦河が最も低い値となった。業況判断DIは前年（△57.2）比でも28.6ポイントの上昇となった。売上判断DIは、前期比42.9ポイントの大幅な上昇となった。収益判断DIは14.3で、前期比横ばいの水準となった。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販売価格	0.0	14.3	28.6	28.6
仕入価格	28.6	28.6	42.8	42.9

販売価格判断DI 28.6は、前期から14.3ポイント上昇した。仕入価格判断DI 42.8は、前期比14.2ポイント上昇した。業種別にみると、水産は販売、仕入価格ともに上昇し、食品は販売価格、仕入価格ともに横ばいとなった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-28.6	-14.3	-14.3	14.3
人手状況	28.6	0.0	-28.6	-42.9

残業時間判断DIは、残業時間が減少したとする企業割合は△14.3で前期比横ばいとなった。

人手過不足判断DIはゼロ水準から、28.6ポイント下降し、人手不足感を強めた。

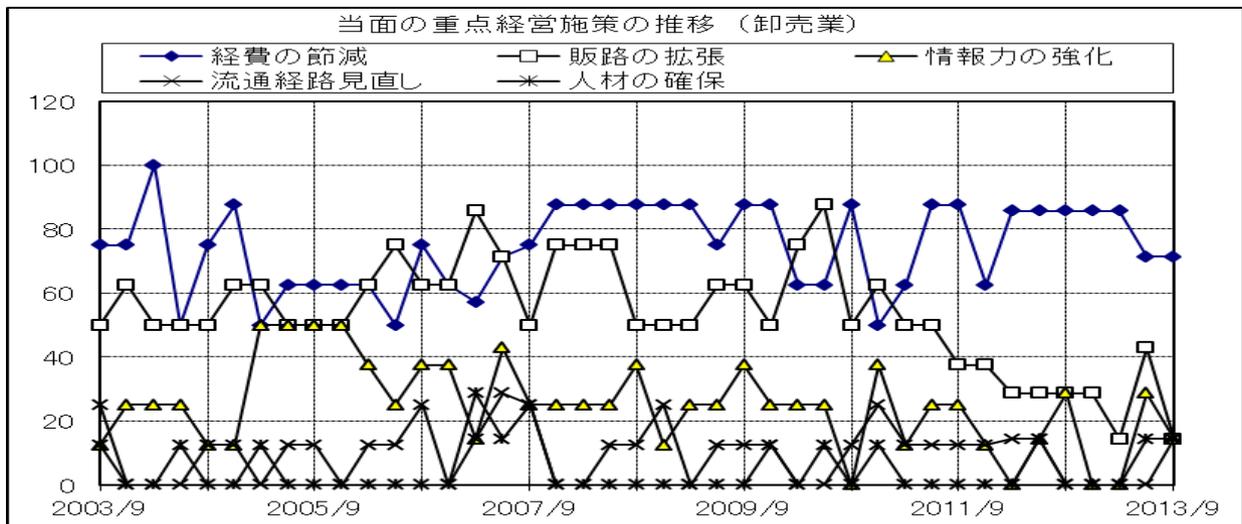
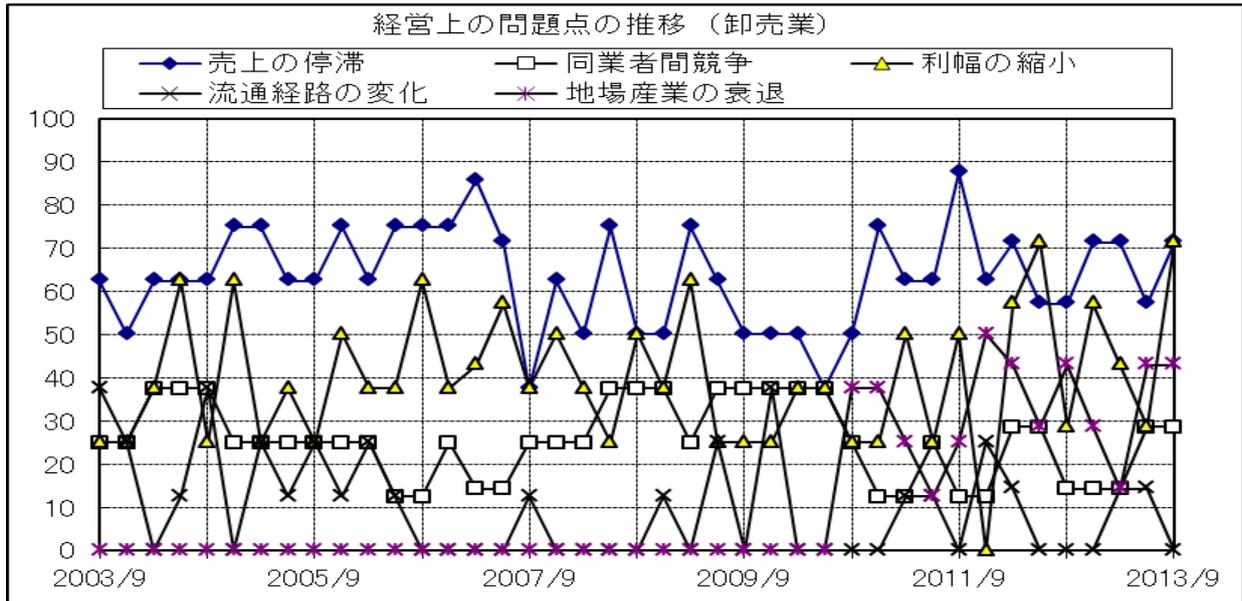
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは、前期のゼロ水準から△14.3ポイントへと低下した。設備投資実施企業は、前期の0件から2件へ、来期の設備投資の予定は今期同様2社となった。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」、「利幅の縮小」をトップに挙げ71.4%、次に「地場産業の衰退」が42.9%、「同業者との競合」「取引先の減少」が同率の28.6%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ71.4%、次いで「販路の拡張」、「品揃えの充実」、「情報力の強化」、「新事業を始める」、「人材の確保」、「流通経路の見直し」、「不動産の有効活用」が同率の14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iはゼロ水準で、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。
 予想売上額判断D Iは今期42.9から14.3へと28.6ポイントの下降の見通しをしている。
 予想収益判断D Iは今期と同値の14.3を見通している。
 予想販売価格判断D Iは今期比横ばいの28.6を見通している。
 予想仕入価格判断D Iは今期42.8から42.9へ0.1ポイント上昇、今期比ほぼ横ばいの見通しをしている。